

ゆまこ、やりかぢちへ

(七六) おしかけがふし

一 きこゑ 大きみぎや、

みしま、いのり、おれぢちへ、

あぢおそいしゆ、

かみが、世、ちよぢれ

又 ことよむせだかこが、みくよ

又 げらへ、大ころた、

あんじおそいよ、よしられ

又 かい、なで、まころこた、

たゝみきよよ、のたてれ

又 あんじおそいが、おこと、

きみくゝと、つかい

又 たゝみきよが、ゑりちよ、

ぬしゝと、つかい

又 けよ、よせと、あおらちへ

やゝめづら、あおらちへ

又 いけな、きみ、たてゝ

なりきよ、えな、たてゝ

又 あかぐちやが、よいつき、

てだかこち、よそいて

(七七)

一 やよやそれ、ゑ、おい、ち

よろめへ、ゑい、やうら、

やうら、やうらへ、

ゑおい、やうら、やうら、

やうら、あゑ、おい、やうら、

やうら、やうら、ゑおい、

やうらや、うらや、うら、

あゑい、ゑおい、

又やよやそれ、ゑおい、ち

よろめへ、ゑい、やうら、

やうら、やうら、ゑおい、

やうら、やうら、ゑおい、

やうら、やうら、やうら、

あゑい、ゑおい、

又やよや、それ、ゑおい、ちよ

ろめい、ゑい、やうらや、やうら、

やうら、ゑおい、やうら、

やうら、やうら、ゑおい、

やうら、やうら、やうら、

あゑい、ゑおい、

(七八)

一ちやむかね^{ア、ちや}やむこ

ゑけりやのちやむこ

とひやよとひやよ

又だよもこもて

げよもこもて

又たまもたちや事

としゆもたちやこと

又たまもちよげて

みしゆもちよげて

又さくさもこの

よりてさもころ

(七九)

一きしやをづくりきよ

きしやをおなりしや

ゑけさひ

又よべ、みちやる、いめの、

まよ、なかの、いめの

又いめや、あそなもの、

いめや、うせな、もの

又おなり、だちへ、ごもて、

つくり、だちへ、ごもて

(八〇) あがおなりかみのふし

一あられ、^{ア、ガ}なの、どりの、

くちなりの、^{ア、ガ}どりの、

ゑけ、こいの

又のう、みちへる、おひきよ^{ア、ル}か、

いきや、みちへり、おひ、きよる

又きみ、みちへる、おひ、きよれ、

ぬし、みちへる、おひ、きよれ

尙元王御世(尙元は尙清の誤)

嘉靖廿八年巳酉のとしきみてつりのも、かほうことの時
よ十月廿一日ひのこのみのへよきこゑ大きみのと御まへ
より給申候

(八一)

一きこゑ大きみぎや、

おぼつ、せぢ、おろちへ、

あぢおそいよ、みまぶて、

きみくや、おぼつ、より、かゑら

又とよむせたかこが、

(か)ぐらせぢ、おろちへ

又きこゑあんじおそいや、

きみよ、ほこりよちへ

又とよむ、むうよせが、

かみ、このみ、まよちへ

又よか、なんか、あまで、

あまこ、あちへ、からと

又ゑか、なんか、あまで、

みきやう、あちへ、からと

又きみくむ、ほこて、

みもん、あまび、めづらしや

尙元王御代(同上)

嘉靖廿八年巳酉のとしきみてつりのもくかほうことの時
は十月十三日つちのどのどりのへのうまの時よきみがな
しのみ御まへより給申候

(八三) (あおりやへがふじ)

一きこゑきみがなし、

さしふ、おれかむて、

まよりもり、おれむちへ、

なさいきよもいまよ、

きみふさて、ちよむれ

又とよむきみがなし、

むつきおれなおちへ、

まだまもりおりむちへ

又なさいきよもい、あちおそい、

み、まぶてむ、おれたれ

又あが、かいなで、あぢおそい、
 かいなでては、おれたれ
 又てるかとは、のたて、
 是へどめて、おれはちへ
 又てるしのと、のたて、
 ませどめて、おれはちへ
 又なさいきよもい、あぢおそい
 又よりもりちよはちへ、
 大きみよ、まなは

(八三) きみがなしふし

一きこゑきみがなし、
 いけな、なりかてて、
 又より、おれはちへ、
 なさいきよもいよ、

又まが、いのち、みおやせ
 又とよむきみがなし、
 なりきよ、おれはちへ、
 まだまもり、おれはちへ
 又さしふ五ころよ、
 是へどめて、おれはちへ
 又むつき五ころよ、
 みまぶては、おれたれ
 又なさいきよもい、あぢおそい、
 およりとて、おれはちへ
 又あが、かいなで、あぢおそい、
 みまぶては、おれたれ
 又てるかたがうざしまゆ、
 此きらよ、おれはちへ

尙永王御代

萬曆六年戊寅きみてつりのもゝかほうことの時よ十月十五日みつのごのみへのよきこへ大きみのみ御まへあおりやへのみおまへより給申候

(八四) あおりやへがふし

一きこゑ大きみぎや、
まへゑらびやり、おれむちへ、
あんじおそい玄ゆ、
きみほこて、ちよむれ
又どよむせたかこが、
ませ、ねかて、おれむちへ
又いけな、きみ、よりおろちへ
又なりきよ、きみ、つきおろちへ
又きみくむ、ほこて

又かみくむ、ほこて
又あが、まぶる、あぢおそい、
てよ(が)下、
いとかけて、ちよむれ

(八五)

一きこゑあおりやへや、
せぢまさて、おれむちへ、
世もつせぢ、
あぢおそいま、みおやせ
又どよむくよもりや、
けおそむて、おれむちへ
又さしふ、なおさ、とりよむちへ、
おぼつ、たけ、おきつめ
又さら、なおさ、とりよむちへ、

かぐら、たけ、おきつめ
 又きみてつり、めづらしや、
 せぢまさて、おれむちへ
 又みもの、あまび、めづらしや、
 せぢまさて、おれむちへ
 又あぢおそいや、いみや、からど、
 せぢまさて、ちよむれ

尙永王御代

萬曆六年戊寅のとしきみてつりのもゝかほうこの時よ
 十月十九日ひのこのどりのへよさをかさのみ御まへ玄よ
 り大きみの御まへより給申候

(八六)

一きこゑさをかさが、

をへとめて、おれむちへ、
 きらのかぢ、
 あぢおそいまぶら
 又とよむ大きみぎや、
 ませ、ねがて、おれむちへ
 又きこゑ大きみぢよ、
 ところゑ、やり(かむちへ)
 又とよむせたかこと、
 ゑりちよ、やりかむちへ
 ア、又トアリテ前ノツギキナリ
 一あぢおそいと、
 ともゝをへ、
 きみふさて、ちよむれ

(八七)

校訂おもしろさうし

コレヨリ別おもろナルベシ
又、玄より大ききみぎや、

さしふ、ゑらで、おれむちへ、

島が命

あぢおそいよ、みおやせ

又、とよむくよおそいぎや、

さしふ、おれなおちへ

又、おぼつゑか、とりよむちへ、

玄よりもりおれむちへ

又、かぐら、きらなおちへ、

まだまもり、おれむちへ

又、いみやからど、あぢおそいや

てもこ、いろ、

てりや、あがて、ちよむる

尙永王御代

萬曆十五年丁亥のとしきみてつりのもゝかほうことの時
は十月十八日みづのどのどりのへのさるの時せんきみの
み御まへより給申候

(八八)

四の五九

一きこゑせんきみぎや、

なりきよ、おれふさて、

なさいきよもい、むうよせ、

せおまさて、ちよむれ

又、とよむきみ、とよみが、

いけな、おれなおちへ

又、みものうちの、まみやよ、

あまで、なおちへ、からと

又、かむるめの、まみやよ、

ほこて、なおちへ、からと

第十二

六七

六六

五四〇

五四一

校訂おもしろさうし

又さしふ五ころよ、
 おれなおちへからえ
 又むつき七ころよ、
 みまぶてま、おれたれ
 又玄よりもり、ちよるる、
 あが、なさいきよ、包うよせ
 まへながく、
 せぢまさて、ちよるれ
 又まだまもり、ちよるる、
 あがなさいきよ、包うよせ、
 まへながく、
 せぢまさて、ちよるれ

尙寧王がなし御代

萬曆三十五年丁未のとしきみてつりのもゝかほうことの

五四二

五四三

時よ十月十日つちのどのみのへのうしの時よきこる大ぎ
 みのみ御まへより給申候

(八九) (あおりやへがふじ)

一きこる大ぎみぎや、
 さしふ、おれなおちへ、
 あちおそいしよ、
 ともゝをる、
 まへまさて、ちよるれ
 又どよむせたかこが、
 むつきおれふさて
 又いけな、きみ、あどへて、
 なりきよ、そろへて
 又あんじおそいぎや、おこと
 包うよせが、おこと

又とし八とせ、なるぎやめ、
 又か、八とせなる、ぎやめ
 又きみてつり、まどうさ、
 みものあまび、まどうさ
 又大ころた、あどへて、
 もりやへこた、そろへて
 又きみ、いきよい、げよ、あれ、
 かみ、つかい、だよ、あれ
 又あかてちやり、よいつき、
 てだ、りみたち、とよで
 又てるかえむ、ほこて、
 いちろこむ、ほこて

(九〇)

一大きみぎや、まぶる、

てだがまへ、あちおそい、
 天ぎや下、

まへまさて、ちよ包れ
 又せだかこが、みまぶる、
 まへまさる、包うよせ
 又おぎも、うちの、御さうせや、
 あけとまよ、たどへて
 又あよが、うちの、おさうせや、
 あけたちよ、たどへて
 又きみぎや、世ねん、げらへて、
 ぬしぎや、世ねん、げらへて
 又てもこ、とし、かけ包ちへ、
 又ア、
 みもの、とし、かけ包ちへ
 又うらおそいよ、ちよ包ちへ、
 世のつちよ、ちよ包ちへ

(一)モ、けよ
 らさ

又いべの、いのり、めしよ_レ也ちへ
 つかさ、いのり、めしよ_レ也ちへ
 又つかさ、かま、ほこり、よ_レ也ちへ
 あぬしかま、ほこりよ_レ也ちへ
 又てるかえむ、ほこり、よ_レ也ちへ、
 いちろこむ、ほこり、よ_レ也ちへ

(九一)

一きこゑあおりやへや、
 きみぎやまへ、おれ_レ也ちへ、
 あぢおそいよ、
 おぼつ、とよむ、
 きみ、ぎや、せぢ、みおやせ
 又とよむくよもりや、
 ませねがておれ_レ也ちへ

又てだがまへあぢおそい、
 まへまさる、包うよせ
 又おぼつせぢ、あらぎやめ、
 きみぎやせぢ、あらぎやめ
 又天ぎやまた、おそて、
 まよりもりふさよ_レ也

尙寧王かなし御代

萬曆三十五年丁未のとしきみてつりのもゝかほうこと
 時よ十月十五日^{ア、四}みづのこのどりのへのうしの時よさまか
 さのみ御まへまより大きみのみ御まへせんきみのみ御前
 より給申候

(九二)

一きこゑさをかさが、

(一)モ、世お
そう云心こ

校訂おもしろさうし

さしふ、おれか見て、
ともとの、世^せそう、せぢ、
あぢおそいよ、みおやせ
又よむさすかさが、
むつきおれなおちへ
又けおのうちを、おしあけて、
又よりもりおれおちへ
又もちろうちを、つきあけて
まだまもりおれおちへ
又あんじおそいよ、ほこて
たゝみきよ、世、ほこて

(九三)

一 亥より大きみぎや、
首里もりおれおちへ、

四の五八

あんじおそい亥よ、
せぢまさて、ちよおれ
又よむくよおそいぎや、
まだまもりおれおちへ
又あぢおそいぎや、おより、
おうよせが、おより
又きらのかせ、おれおちへ、
又かのかせ、おれおちへ
又おれらかせ、みまぶら、
あせむかせ、みまぶら

(九四)

一 きこゑせんきみぎや、
せへごまいて、おおちへ、
あんじおそいよ、

第十二

四の六〇

校訂おもしろさうし

ままが、いのち、みおやせ

又とよむきみ、とよみぎや、

ませねがておれちへ、

又あまみやから、

まへの、きみ、やれと

又まねりや、から、

あへちへ、きみ、やれと

又さしふ五ころよ、

みまぶてま、おれたれ

又むつき七ころよ、

かいなで、ま、おれたれ

又大きみぎや、御さうせ、

てるかた、のだて、

船ゑとのおもしろ御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

(一)

一あかぢ、めづらしや、
 いちへら、かぢ、
 おみ、まぶてま、さりやせ
 又きみの、めづらしや

(二)

一おしぢへたる、ゑ、
 つかさく、ゑ、
 あむ、いので、さりよる、ゑ
 又さり、いでたる、ゑ
 又あさどれが、まよれそ
 ようどれが、まよれそ

(三) 夫よりゑこのふし

一 おくらつが、ふなやれ、

げらい、まさり、^(二)とみ、

おしうけらと、

夫まよ、ふさよ^(一)れ

又 あんじおそいが、おやおうね

(四) おくらつがふなやれがふし

一 夫より、お^(一)る、てだこが、

おやおうねと、つかよ^(二)、

おや、おうねや、とちへ、きより

みちや、とりやちへ、きらや、

夫よ^(三)、世の、つぼよ、

世の、つくせ、とおやせ

又ぐま^(四)く、お^(一)る、てだこが

(五) 夫よりゑこのふし

一 夫^(一)ぎべ、大^(二)ざとが、

かぢ、とたる、こ^(三)まさよ、

大^(四)ぎみよ、

またへ、こうて、と^(五)りやよ

又よ^(六)かる、大^(七)ざとが、かぢ、とたる、

又あ^(八)くて、おちやる、かうちちよ、

そで、たれて、^(九)れたる

(六) 夫^(一)ぎべ大^(二)ざとがふし

一 夫^(三)より、お^(四)る、てだこが、

おうねの、き^(五)み、おしうけて、

も^(六)うら、お^(七)そう、たまの、き^(八)みつかい

(一)モ、舟之
ことこ

(二)首里天加
那志の御事
こ

(一)モ、よし
といふ事こ

(一)モ、きよ
らかの事
(二)モ、舟の
名こ

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(七) 去よりゑこのふし

一 去より、お見る、てだこが、

まつとみの、おやおうね、

あぢおそいが、なおさ、とり、とりやせ

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(八) おくらつがふなやれがふし

一 去より、お見る、てだこが、

うき去また、げらへて、

たう、なむん、よりやう、なと、どまり

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(九) 去よりゑこのふし

一 去より、お見る、てだこが、

みてづから、たちよむちへ、

ぶれたかの、まやう、やよ、きよらや

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一〇) おくらつがふし

一 去より、お見る、てだこが、

もうらおそい、げらへて、

たまとしり、たまやりと、みもん

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一一) 去よりゑこのふし

一 去より、お見る、ぐまぐ、

ながへきよら、御ぐまぐ、

だり去よ、また、かみ下、とよめみ

(一)モ、那覇
之事
(二)モ、唐な
んばん

(一)モ、飛鷹
のいこ

二十二の四〇

(一)モ、清ら
かなるをし
るの事

二十二の四一

(一)モ、萬々
歳迄清らか
目出度など
いふ事

校訂おもしろさうし

又まだまもりぐすく

(一二) 志より志このふし

一志よりもりぐすく、

くもかせた、よりそへ、

のちが、をゑ、

せくさ、よせる、まじ

又まだまもりぐすく

(一) 勢軍

(一三)

一志より、お見る、てだこが、

げらへたる、ゑそこ、

たま、めづらせ、このとく、まさり、

又ぐまぐ、お見る、てだこが

五五六

(一四) 志より志このふし

一志より、お見る、てだこが、

おやおうねえ、おしうけて、

たま、みねぶ、見たしよ、

おぎやかもいが、つほよ、玉みしやこ

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一五) 志より志このふし

一志より、お見る、てだこが、

とぢやの、さいく、あそゑて、

とねうちたる、ことい、ぶさ、をだちへ

又ぐまぐお見るてだこが

(一六) 志より志このふし

一志より、お見る、てだこが、

たうの、みち、あけりちへ、

二十二の四二

(一)ア、集め
てこ

校訂おもしろさうし

九

又うと、もいが、なんだいむ、かよ、ある
又ぐまぐ、おむる、てだこが

正徳十二年十一月廿五日ひのこのどりのへよせぢあらとみ
まなむんよ御つかいめされし時よおぎやかもい天の御みて
づからめされ候ゑと

(一七) 夫よりゑこのふし

一大ぎみと、たかべて、

せぢ、あらとみ、おしうけて、

大ぎみよ、

おゑちへ、こうて、とりやせ

又せだかこと、たかべて

又あぢおそいぎや、おさうせや、

むかう、かた、えなて

(二)モ、順風

五五九

又おぎやかもいが、おさうせや、

むかう、かた、えなて

又あぢおそいぎや、

おやおうね、おしうけ、

かた、まぶりよ

又げらへ、せぢあらとみ、くりうけ、

かた、まぶりよと

又ぶれしまの、かみく、

あよそろて、まぶりよ

又きみとゑと、たかべて、

せぢあらとみ、おしうけて

又のろく、たかべて

(三)モ、肝の事

尙清王加那志御代

嘉靖三十二年五月四日つちのこのどりやらざもりのまうと

(一)モ、尙清
王かなし神
御名ニ

校訂おもしろさうし

らいの時よきま物のみ御まへよりおかみ申みせゝる
天つぎのあんしおそいかなし天の御み事よるとつくり申候

やふその大やくもい
こゑくの大やくもい
こふその大やくもい
くよしの大やくもい

(一八) 夫よりゑこのふし

一天つぎの、御さうせ、

大ぎみと、たかべて、

やらざもり、いしらごと、

おりあげて、ともゝまへ、

せいくさ、よせるまじ

又えうよせの、御このみ、

せだかこと、のだてゝ、

(二)モ、王か
なしニ
(三)モ、御了
簡ニ
(四)モ、石垣
の事ニ

(五)モ、石垣
の事

やへざもり、ましらごと、
つみあげて、ともゝまへ

又きこゑ、天つぎの、世の、

さうせ、めしよえちへ、

おくの、みよう、いしらごと、

おりあげて、ともゝまへ

又とよむ、えうよせの、世の、

さうせ、めしよえちへ、

おくの、うみの、ましらごと、

つみあげて、ともゝまへ

又きこへ、大ぎみぎや、

やらざもり、ちよえちへ、

だしきやくぎ、さしえちへ、ともゝまゑ

又とよむ、せたかこが、

やへざもり、ちよえちへ

(六)モ、海深
きところニ

校訂おもしろさうし

あさか、がね、こいめと、ともへ

(一九) 夫よりゑこのふし

一あか、かまる、ふなやれ、

げらへ、こがねとみ、

大ぎみよ、

またい、こうて、とりやよ

又たうと、いで、とりよれと、

たうの、ぼうさ、たかべて

(二〇) 夫よりゑこのふし

一おしかとが、もちよる、

うけたから、とよで、

うけるかた、

ちやくよとみ、おうね

(二)モ、舟

又かみよしやが、もちよる

(二一) 夫よりゑこのふし

一あがる、よせ、きみ、さしふ、

いせゑけり、てるかたよ、

ちやくよ、ゑらで、つかひ

又きみの、世へせ、きみ

(二二) 夫よりゑこのふし

一みぢへりきよが、もちよる、

かな、かふと、げらへて、

かなふくよ、もちりよかす、きよらや

又かみよしやが、もちよる

(二三) 夫よりゑこのふし

(二)モ、御日
の事

(二)モ、清ら
かなる事

一みちへりきよが、もちよる、
げらへ、まさりとみ、

ふなやれ、げらへて、みおやせ
又かみよしやが、もちよる

(二四) ちつにしやがふじ

一みちへりきよが、もちよる、

かみにしやが、もちよる、

でん、これ、いちへ、とりやよ

又ゑらぶく、ゑらぶ、

もゝゑらびの、おや、おうね

又ゑらぶく、ゑらぶ、

やそゑらびの、おや、おうね

又もゝそ、のる、ふなこ、

なゝそ、のる、ふなこ

(一)モ、我
(二)モ、出て
ア、云
(三)モ、行や
う

(四)モ、八十
(五)モ、百
(六)モ、七十
(七)モ、か子

(八)モ、むや
まこ
(九)モ、眞男
ん

(一〇)モ、久
高津堅しま
の事こ
(一一)モ、遠
くともおる
してこ
(一二)モ、久
高津堅しま
の事こ

又いやく、まころくが、

いちの、かぢ、まちよく

又こむしまの、かみく、

おさん、まぢへ、まぶりよ

又つれしまの、かみく、

おさんまぢへ、まぶりよ

又なは、どまり、ぬきあてゝ、

おや、どまり、ぬき、あてゝ

(二五) つよつけたむりやせがふじ

一みちへりきよが、

げよ、とりよる、

目がうらの、めづらしや、

はやく、とりそいよ

又かみよしやが、

(一)モ、實に

(二)モ、早く
むせよりと
いふ事こ

げよ、とりよる

(二六) うち出たたくしこらふつけがふし

よ^(一)きな旦那が、もちよろ、

かみにしやが、もちよろ、

けお、みちへ、もゝど、

みふさ、よけれ

又きこゑ、あぢおそいや、

とよむ、あんじおそいや

又どなき、^(二)たし、^(三)まよむちへ、

けらま、^(三)よど、まよむちへ

又^(ア)どのしきよ、おむちへ、

ふうまむり、おむちへ

(二七) うちいてはやくめづらしがふし

(一)モ、たよ
りしてん
(二)モ、少し
滞在してこ

一花への、ゆきな旦那、

まない、かみ、やれど、

かけて、まさり、よけれ

又きこへ、あんじおそいや、

とよむ、あぢおそいや

又ままおそいよ、ちよむちへ、

かなふく旦那、げらへて

又たり、よから、きけど、

きやう、よりや、まさり

(二八) 花へのよきな旦那がふし

一よきな旦那が、もちよろ、

かみよしやが、もちよろ、

この世、おそて、なおまよむちへ

又きこゑあんじおそいや

とよむあんどおそいや

(二九) これいごかしきのかねつがふし

一くめの、やまぐまぐ、

げらへ、やまぐまぐ、

げらへ、ふさよむる、^アもり

又けさと、かみが、たけ

いみやむ、のろが、たけ

(三〇) うちいてもうらむへがふし

一おきて、むらいきよ、

なさの、そやけ、こて、

やかやちやゑ、なよら

又こゑしのだ、たかべて、

かみよしやと、たかべて

(一)モ、乞

(二)モ、順風

又まよし、^二こや、べら

^三おいちへ、こや、べら

(三一) うちいてまきやのしがふし

一ゆらきやねが、ふなやれ、

やらいとみ、おしうけ、

むかい、ほこら

又ゑひせよやの、ゆらきやね

又あが、^三ころが、つかい

又なで、ころが、つかい

(三二) なよくらがもちよろがふし

一なよくらの、のろの、

あまへとみ、かまへつで、みおやせ

又むかのろむ、^アまむり

(一)モ、舟の名

(二)モ、我

(一)ア、蓮の
事

校訂おもしろさうし

又(二)ア、
又あやの、みやし、うちよちへ
又せりこ、こうて、うちよちへ

(三三) うちいてまきみのあんじのふし

一 いやく、めづらしや、

こと、なおし、おれむちへ、

きよらや、もりぐま

又おなりがみ、みれと

又おきおほぢが、

さかい、とひこりて

(三四) 夫よりゑこのふし

一 くめの、こゑしのが、

も、うら、こゑしのが、

うけみつ、なりおそい、つけれ

又あよみねよ、あつる、

おきよおほぢが、うゑけ

又やまの、ひよどりや、

うけどやり、ふく、やよ

(三五) 夫よりゑこのふし

一 まとへ、まつなりぎや、

またい、さらめけと、

たう、なむん、

かまへつで、みおやせ

又おゑちへ、まつなりぎや、

おゑちへ、さらめけと

(三六) なよくらののろのあまへごみがふし

一 なよくらが、もちよろ、

(一)モ、南風
之事

第十三

せだかこよ、いちへ、おやせ
みや、あかり、よせれ、せだかこ
又かみえもの、ことむ
せだかこよ、いちへ、おやせ

(三七) 夫よりゑこのふし

一くめの、たうやまよ、
うへてあつる、うるせし、
うけみつ、なりおそい、つみ
又えなれ、たうやまよ
又うねよ、おて、うてと、
大里よ、とよで

(三八) 夫よりゑこのふし

一くめの、こいしのが、
もゝうら、こひしのが、
これど、だよの、きやの、まかね
又ぐしかせの、とまり、かほうよる
又やまと、ま五らせど、
えられてと、とりやたな

(三九) 夫よりゑこのふし

一くめの、せかきよらが、
なおう、こので、おせちへが、
おいちへ、こうて、
てる、きしやき、つかい
又えなれ、せかきよらが

(四〇) かうちをつなりがふし

一きこゑ、せのきみが、
こいしのが、おもか、かその、

(一)モ、何ん

みしま、ようしま、からど、
 かなしや、ある
 又とよむ、せのきみが、こいしの
 又いしけ、なま、まみやよ、
 けさ、げらへ、あるよる

(四一) うちいてまごしまおそいがふし

(一)モ、舟之
事

一きこゑ、せのきみが、
 (二)
 うらとりぎや、みもん
 又とよむ、せのきみが

(四二) あやげらへのふし

一きこへ、せのきみと、
 つつとりきや、むちへ
 又とよむせのきみと

(一)モ、舟の
事

又せのきみが、おうねや、
 むしが、まやい、とみ
 又あぢおそいが、おうねや、
 げらへ、まま、うちとみ
 又むしが、まゆい、とみと、
 げらへ、しまうち、とみと

(四三) うちいてまつつとりくむちへがふし

一きこゑせのきみが、
 あや、けむい、みもん
 又とよむせのきみが
 又あさどれがまよれと

(四四) よなおさがゑそこがふし

一まつなりが、ふなやれ、

やうら、おちへ、むりきよ、つかい
 又かみよしやが、ふなやれ、
 又ち、ようきや、てう、みおうね
 又まきしや、てう、みおうね

(四五) あけまよのかみにしやが良金銀よらちへのふし

一まつかねや、かみよしや、もちよる、
 あゆまちへが、みもん、きよらや
 又かしら、くろ、おやおうねと、おしうけて
 又あぢ、おうねや、こがね、せひ、おしたて
 又げん、おうねや、くがの、せひ、おしたて
 又あぢ、おうねや、まぬ(三)の、ほうと、ひきたて
 又げん、おうねや、むり(三)き、ほう、ひきたて

(四六) まよりゑこのふし

一くめの、こいしのが、
 おとちよもい、つかよと、
 きこへ、くるかりやよ、
 どりよと、やり、ふさよと
 又もゝうら、こいしのが

(四七) ごまりみちへりきよがふし

一五くの、まころくよ、
 う(三)ききよら、さりやせ
 又たらこ、かいなで、ころ
 又こゑしのだ、たかべて
 又おなり、がみ、たかべて
 又ひか、たけよ、のぼて
 又おほか、くち、のぼて
 又よかる、けと、ゑらで

(一)モ、布帆
 の事
 (二)モ、薙帆
 の事

(一)モ、舟

(二)モ、船作
場の事
(三)モ、船作
場の事

又きやかる、けと、忍らで
又もと、つけな、なつけて
又やま、つけな、なつけて
又(三)らからの、とや、おうね
又(三)す忍からの、とや、おうね
又なと、どまり、とりやへと
又おや、どまり、とりやへと
又も、おうねの、ふなさき
又やそ、おうねの、ふなさき

(四八) うちいでまかうちをつながりがふし

一きこ忍、お目もりや、
きよら、とりやせ、忍、
おこれや、やちよこ
又とよむ、お目もりや

又あさどれが、まよれと
又ようどれが、まよれと

(四九) うちいてまおしやへこがふし

一おかちや、大ころよ、
おかちや、なでころよ
又おやのかみ、やれと、
おなりかみ、やれと
又おれる、かた、よせて
あまぶ、かた、よせて
又あがるいの、みしま、
なお、つほよ、あてかよう
又てたが、あなの、みま、
なお、つくせ、あてかよう

(五〇) 五くのまころくのふし

一とまり、みちへり、きよう、
 そよらく、とりやせ
 又やむれ、みちへりきよう
 又とまり、あやみやよ
 又やむれ、あやみやよ
 又百、かめえ、をゑて
 又やそ、かめえ、をゑて
 又かみ、ほこる、そやけこ
 又たか、ほこる、そやけこ
 又かみ、ほこて、から
 又たか、ほこて、から
 又みか、づきの、みつやよ
 又四か、づきの、みつやよ

(五一) うちいてまきみよしきみのふし

一 おむもりが、
 けおの、きみ、あまへて、
 ふれまで、とりやえよむ
 又たまで、おりや、
 えけて、おりや
 又おし、うけむちへ、
 くりうけ、むちへ

(五二) つましけがふし

一 えけかけの、かみよしやが、
 ふなやれ、うきわたの、
 なおれよる、きよらや
 又あが、ころと、よくし

(一)モ、明日の事

ことせと、まやり
又よう、あけ、いちへて、
あけどまよ、さりよれと
又おかみ、いちへて、
みさき、いちへて、
さりよれと

(五三) きまゝ大やこがふし

一どまり、まちへりきうよ、
やむれ、みちへりきうよ、
あくかべよ、よさり、あまやかせ
又まより、のろ、たかべて
おや、のろと、たかべて
又いちへて、てゝ、まられゝ
さり、より、てゝ、まられゝ

(一)舟の事

又どまり、まらね、ども、
くちや、まらね、ども
又さしまむちへ、いれて
ぬきまむちへ、いれて

(五四) まよりゑこのふし

一どもそいが、なでころ、
せりきう、とみ、おしうけて、
くもかせの、たち、なおる、きよらや
又かみよしやが、なでころ

(五五) まよりゑこのふし

一どもそいが、なでころ、
たち、なてま、まぶりよと、
よそお、せぢ、まさる、

又かゑ、きよう
又かみよしやが、なでころ

(五六) 屯つなりのふし

一世なおさが、^(二)ゑそこ、
ゑ、け、やれ、ゑ、け
又かみよしやが、ゑそこ
又まとい、くよ、とへの
又やとくど、おちへこう

(五七) 志よりゑこのふし

一みるや、てる、てりやかり、
てりや、あかりと、たかべて、
あぢおそいが、御つかいど、とりよる
又かなや、てる、てりやかり

(五八) 志よりゑこのふし

一あがる、てだ、おかみや、
あんどおそいま、おかみよれ、
あける、日や、おみか^(二)うど、おかむ
又あがる、月、おかみや

(五九) 志よりゑこのふし

一おぎやか、なりち^アよやが、
あちく、ゑらぶ、おうね、
かみ、てだの、まぶり、よむる、おうね
又あぢおそいが、おや、おうね

(六〇) みちへりきらかげよむりよるがふし

一みちへりきうが、もちよる、

(二)モ、舟の
事

(二)モ、御顔
の事

又ふなさき、つよ、つけた、とりやせ
又かみよしやが、もちよる
又あぢおそいが、おうねや

(六一) うちいてまおかちや大ころがふし

一 おしやへこが、ふなやれ、ゑ、
あおりやへ、やとりつなや、ちよこ
又かみよしやが、ふなやれ

(六二) おもかものみしまがふし

一 かうち、まつなりが、
かみく、あまへて、
ほこてま、とりや、まよじ
又みもん、まつなりが、かみく

(六三) まよりゑこのふし

一 ささちきうが、ふなやれ、
おうね、くらなみ、ようつゆ、
かけら、たな、とりやせ、
(又)あぢおそいが、おやおうね

(六四) まよりゑこのふし

一 おや、ささち、ねとらちへ、
あぢおそいよ、まなて、
おもう、やよ、
うちや、あがりやり、みおやせ
又このと、たつあふ、なみや、
あぢおそいよ、まなて

十の三九

(一)モ、神人
ニ

(六五) ふなやれひやしがふし

一くめの、こいし(二)のが、

くよたか、むかきうか、

たまよせ、おうね

又あさどれが、まよれと

又ようそれが、まよれと

(六六) あかつめづらしやがふし

一大よしの、うらとり

なよくら、てづてま、とりよれ

又(三)さきよだの、うらとり、

(六七) あかつめづらしやがふし

一大よしよ、とよむ、

きこへ、なよくら(四)、

てづてま、とりよれ

又さきよだよ、とよむ

(六八) あおりやへがふし

一きこゑ、よんたむぎ、

おしやけ、み、あぐて、

だりま、とりま(五)、ちやれ

又とよむ、よんたむぎ

又かみの、ふね、もゝ、おうね

又下の、ふね、やそ、おうね

(六九) まよりゑこのふし

一いやや、大やこが、

せなと、おきて、なしよむちへ、

(一)モ、讀谷
山の事

せなと、おきて、
なつ、みつる、かよ、ある
又せなと、大やこが、
せなと、おきて、なしよむちへ

(七〇) 老より老このふし

一いへの、あちが、ふなやれ、
おしかさま、老られて、
あん、まふで、
此と、むたし、よむれ
又あち、ゑらびが、ふなやれ

(七一) 老より老このふし

一いへの、さたころ、
あぢよせよ、なりよもい、

(一)モ、目ん
ん

またねぢと、

あんどおそいよ、みおやせ
又さなれ、さたころ、

あぢよせ、なりよもい

(七二) 老より老このふし

一老も月が、たちよれと、
あん、まちよれ、またねじ、
またねじや、
きもからも、さらん
又むかなつが、たちよれと

(七三) かつれんむいきやるかつれんがふし

一あむもりの、
きりくちの、

きみの、あまへ、

きよら、ており、とみ

又づれの、ふた、

づれの、まきよ、

おれ、ぼしや

又いじけ、まきよ、

いじけ、ふた、

おれぼしや

(七四) ^{ア、マウ}まよりちあほりやへがふし

一あがるいの、つかさご、

あがたかべ、つかさご、

うみとらちへ、

かせ、なおちへ、つかい

又てだが、あなの、つかさご

(七五) きゝみあくむがふし

一あがるいの、大ぬし、

ふゑの、ごりの、かこへの、

うらくご、きゝ、きよらや

又てだが、あなの、大ぬし

(七六) ふいのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

きゝ、みやぐむ、せぢ、

やてよこ、ころ、

そろいむる、あぢおそい

又てだが、あなの、大ぬし

(七七) むつにしやがふし

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、まへよ、

(一)モ、白さ
(二)モ、赤さ

あかぎ、ゆまぎの、えなの、
ましろ、^(三)まから、さきよれと、

おれ、よとて、おれさちへ、

あけの、つよよ、おされて

なみきや、よりきや、

とるよれと、おれとまる、ころたへ

又てだが、あなの、大ぬし

(七八) ふへのごりのふし

一あがるいの、大ぬしが、

まへから、あよ、そろて、

やくめ、て、ゑられ、

又てだが、あなの、大ぬし

(七九) ふへのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

天が下の、

あんじ、げと、ちかむと、

おぎも、ゑやり、なをし、より

又てだが、あなの、大ぬし

(八〇)

一あがるいの、大ぬし、

あけま、もどろ、みれを、

へよの、どりの、まゆへ、みもん

又てだが、あなの、大ぬし、

(八一)

一あがるいの、大ぬし、ゑのち、

大ぬしぎや、みもん

又てだが、あなの、大ぬし

(八三) ふいのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

こへがなし、なりきよら、

うちちへ、えまそいれ

又てだが、あなの、大ぬし

(八三) むつよしやがふし

一あがるいの、大ぬし

きこへ、くよ、せりきうと、

やくの、やくせ、ほてらちへ、

てり、おそいが、みもん

又てだが、あなの、大ぬし

又いろの、またま、へよと

又いろの、むか、さかいと

又いきや、よむる、ところ

又おも、よむる、ところ

(八四) ふいのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

みやきせん、かな、ひやぶ、

あぢおそいま、

かけて、ふさよむれ

又てだが、あなの、大ぬし

(八五) うちいてむふいのごりのふし

一あがるいの、

あけもどろ、たてと、

(一)モ、あか
つきの事

二十二の三五

校訂おもしろさうじ

どはしり、やとしり、

おしあけむちへ、

みもん、きよらや

又てだが、あなの、

あけもどろ、たてを

(八六) ふへのごりのふし

一あがるいの、大ぬし、

大ぬしが、このみま、

ゑそこ、みおうね、このだれ、

おぎもの、まなのお、やま、そりやせ

又てだが、あなの、大ぬし

(八七) まつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、

やゝの、まほう、

おしあげて、そりやせ

又てだが、あなの、大ぬし

(八八) まつましやがふし

一あがるいの、大ぬし、

なるかねの、おもいぐま、

まつらがね、まくもよ、

なか人よ、やた物、

やこへ、せと、どこへせと、

とくつかい

又てだが、あなよ、とよみよし

又あさつゆと、けりあげて、

よう、つゆと、けり、あげて

又なか人よ、かよて、

こいものよ、かよて

(八九) むつよしやがふし

一 地天、とよむ、大ぬし、

ちうらの、となの、

さい、むたる、みもん

又 天ぢ、とよむ、大ぬし

(九〇) むつよしやがふし

一 あがるいの、大ぬし、

天が下、

せぢ、まさる、あぢおそい

又 てたが、あなの、大ぬし、

天が下

又 きこへ、くよせりきよが

又 亥よりもり、ちよむる
又 まだまもり、ちよむる

(九一) むつよしやがふし

一 あがるいの、大ぬし、

たま金、みうちよ、

たより、なちへ、みおやせ

又 てだが、あなの、大ぬし

(九二) うちいてむなこさかいがふし

一 くよかさの、おや、のろと、

せど、亥やり、もちろ、やほう、

うらまきちへ、さりや亥よむ

又 くよかさの、むかのろと

又 あかぎ、とて、ゆむぎ、とて、とくか

又あやぎ、とて、くせぎ、とて、
 ほう、としりや
 又てうの、いとと、まうの、いとと、
 みなせ

(九三) うちいてとおしかけふし

一あけしの、かみよしや、
 やれかゑ、やくの、
 やほう、あおらちへ
 又なよかさの、のろよしや、
 又あさどれ、ようどれ
 又いたきよら、たなきよら
 又ふなこ、ゑらで、てかち、ゑらで
 又あけしの、せど、まぢやうを
 又なよかさ、てどり、ちやうを

又そできよらと、ゆうどり、ちやうを
 又かせのてや、ほう、ふくるよ、まなへ
 又なみのてや、ふなはらよ、まぢへ

(九四) うちいてかつかねがふし

一あけしの、かみよしやが、
 なむぢや、こがね、よらちへ、
 どりよる、きよらや
 又なよかさの、のろよしや
 又あさどれが、まよれと

(九五) こむもりかなもりがふし

一きこゑ、あけまのが、
 おみしやく、さしやげと、どりやせ
 又とよむ、あけしのが

(一)モ、すば
といふ事

(二)モ神人

(九六) 御みじやくぬきあけがふし

一きこゑ、あけしのが、

ちやくよ、かなしけや、

かみ下の、かまへ、

つで、みおやせ

又どよむ、あけしのが

(九七) 御みじやくぬきあけがふし

一きこゑ、あけしのが、

かみ下、どよむ、みおどん、げらへ

又どよむ、あけしのが

(九八) あけしのがふし

一きこゑ、あけしのが、

ゑか、きみ、えねこよむちへ、

くもかせ、えなてとりやせ

又どよむ、あけしのが

(九九) あけしのがふし

一きこゑ、あけしのが、

こむもり、かなもり、

み、あぐむ、かみぐまぐ

又どよむ、あけしのが

(一〇〇) こむもりかなもりがふし

一きこゑ、あけしのが、

あがるいの、こむもり、

こむの、えなの、

さきよれえ、

うらくと、

むか、きみ、つかい

又とよむ、あけしのが

(一〇二) うらそいおもろのふし

一きこゑ、あけしのが、

あよ、そろお、

たゝみきう、まへかち、

天が下、たより、なちへ、みおやせ

又とよむあけしのが

(一)モ、平ら
けて

(一〇三) あけしのかこむもりかなもりがふし

一きこゑ、あけしのが、

さやと、だけ、おれむちへ、

あけせ、みそ、めしよむちへ、

(一)風なおり
こ

かざなおり、さしよむちへ、

なみ、とゞろ、うみ、とゞろ、

おしうけて、ひやくなの、

うらとりが、みもん

又とよむ、あけしのが

(一〇四) あけしのがこむもりがふし

一きこゑ、あけしのが、

あおとよ、みそ、めしよむちへ、

なみが、とな、「おそよむ

又とよむ、あけしのが

(一)モ、青色
の衣

(一〇五) せつよしやがふし

一あおり、こしりやへと、

せど、まやり、

校訂おもしろさうし

お包もり、かまへかち
又きみの、こしりやへと
又あさどれが、えよれと
又ようどれが、えよれと
又いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて

(一〇五) まつまじやがふし

一月^(一)えろの、大ぬし、
きくやなき、たけから、
やま^(二)と、ひちめかちへ、
あがて、てる、月^(三)えよ、
あが、なさが、せひき^(四)
やひ、きえ、あがる、やよ^(五)
又^(五)えらぶ、てる月^(五)えよ

(一)モ、御月の事

(二)モ、月出て山端を映して

(三)モ、我の事

(四)モ、父親の事

(五)モ、明の月の事

(一〇六) うちいてとあかるゑこのふし

一てよ、とよむ、大ぬし、
あけ、もどろの、と^(一)なの、
さい^(二)じたり、
あれよ、みれよ、
きよらやよ
又ぢてよ、とよむ、大ぬし
あけもどろの、はなの

(一〇七) 去よりゑこのふし

いきこゑ、大きみが、
せいやりとみ、めしよ^(一)ちへ、
なみかせ、なご^(二)やけて、
さやとだけ、きみ^(三)くゝえよ、むかい

(一)モ、早朝咲花の事

(二)モ、浪風やはくとなる事

(二)ア、赤き衣の事

又かさなおり、あおらちへ、
^(三)あけの、みそ、あおらちへ、
なみかせ、なごやけて、

うらのかせ、きみくゝえよ、まぶれ

又こをお、もりの、きみくゝ、

(三)モ、寄合

^(三)まやゑて、おこらめ、

なみかせ、なごやけて、

えよりもり、きみくゝえよ、まぶれ

又かな、もりの、きみくゝ、

きやゑては、おこらめ、

なみかせ、なごやけて、

まだまもり、きみくゝえよ、まぶれ

(一〇九) えよりゑこのふし

一 えよりもり、ちよむる、

(一)モ、舟の名

きこゑ、あんじおそい、

せいやりとみ、おしうけて、

こむもり、ちよむちへ、

ひやくさせぢ、あんじよ、みおやせ

又まだまもり、ちよむる、

ゑぞよや、ませ、あぢおそい、

^(二)ておりとみ、おしうけて、

こむお、もり、ちよむちへ

又きこゑ、大ぎみが、

こむお、もり、つかさと、

おこと、あむえよ、むちへ、

てるかえよ、えられて

又とよむ、せだかこが、

こむお、もり、つかさと、

おこと、おむえよむちへ

又くよかさの、おや、のろ、かよとねて、
 おぎやかもいよ、まられ、
 又くせきよらの、大のろ、かよとねて、
 おぎやかもいよ、まられ、
 又まよりもり、ちよむる、
 おぎやかもい、あぢおそい、
 いみや、からど、
 まへまさて、ちよむる

(一一〇) おやみかまがふし

一きみとよみ、まし、
 ちよきやれと、ふれまて、
 まち、よふさ、ゆらせ
 又うきとよみ、けおの、
 とねうち、やれと、

又おしうけ、むちへ、
 くりうけ、むちへ、からと
 又あける、つかさ、
 なおか、つかさ、やれと
 又たまこがね、もて、
 あむしやり、ほうとしりや
 又ておの、いとと、もて、
 あむしやり、みなむせ
 又まおの、いとと、もて、
 あむしやり、こなむせ
 又うみ、なおむ、やゝの、
 まほう、おしや、けて

(一一一) まよりゑこのふし

一みよちよのと、たかべて、

校訂おもしろさうし

此と、いちへて、そりよれと、
うら、こゑて、そでたれて、そりやよ
又かみよしやと、たかべて

(一一三) 夫よりゑこのふし

一あかかまが、ふなやれ、
てたが、まへ、ゑられて、
おゑぢへ、こうて、
くもよ、おこられ、
又おゑましが、ふなやれ、
てたが、まへ

(二)モ、順風

(一一三) 夫よりゑこのふし

一あかかまが、ふな、やれ、
ゑらぶ、むまひもよへ、

(二)モ、我

いみやこ、より、
めつらこゑ、やらに、
又おゑましが、ふな、やれ
又たびよ、たつ、あんと、
くれかてや、あれども、
いみやこ、より、めづら

(一一四) 夫よりゑこのふし

一ゑらぶ、たつ、あまた、
大ぐまぐ、げらへて、げらへ、やり、
おもひぐまの、御だめ
又となれ、たつ、あまた、大ぐまぐ

(一一五) 夫よりゑこのふし

一ゑらぶ、まことつが、

(二)モ、あの人

(二)人名

校訂おもしろさうし

(二)モ、八ツ
内はすかま
といふ

たまの、きやく、たかべて、
ひといちよと、
まかま、うちよ、さりやせ
又となれ、まことつ、たまの

(一一六) 老よりゑこのふし

一 ゑらぶ、世のぬしの、
ゑらで、おちやる、のさ、
あくか、む、よみの、
まきんとて、みやせ
又となれ、世の、ぬしの、
ゑらで、おちやる

(一一七) うちいてまみかなしてだのふし

一 きこへ、をてん、のろ、

(一)モみほし
ち

みやけ、ぼしやの、
むかいきよ、ゑのび、
あくみ、ちよよ、まぶる、
かみ、そむて、まぶられて、
かよい、ふさよむちへ
又とよむ、をてん、のろ

(一一八) ちつまじやがふし

一 きこゑ、大ぎみが、
ま(二)まうちとみ、おしうけて、
かぐらの、てより、とみる、かよ、ある
又とよむ、せだかこが、
ま(三)まうち、とみ

又けおの、よかるひよ、
ま(四)ま内、とみ

第十三

(二)舟の名の
ことそ

一の二一

校訂おもしろさうし

又けおの、きやくるひよ、

まま内とみ

又あさどれが、まよれと、

ままうちとみ

又ようどれが、まよれと

ままうちとみ

(一一九) 大きみがいとめづらがふし

一大きみが、^(二)な^(三)おさ、とて、おれ^(三)ちへ、

あまへて、まま内、まさり、よ^(三)れ

又くよもりが、時とりやり、おれ^(三)ちへ

(一二〇) 大きみが時とりやりがふし

一大きみが、^(二)た^(三)ま、めづら、めしよ^(三)ちへ

あまへて、け^(三)れい、こき、みもん

(一) きよらさ
といふ事

十の五

又くよもりが、いとめづら、めしよ^(三)ちへ、
あまへてけ^(三)れい、こき、みもん

(一二一) うらおそいおもろのふし

一まさりきよが、ふなやれ、

おきな^(二)、あ^(三)んじおそいまよ、ちよ^(三)れ

又うきあがりが、ふなやれ

又なけちへて、おもな

又たよて、て、おもな

(一二二) まよりゑこのふし

一かつれなが、ふなやれ、

ふなやれと、かまへ、

とく、大みや、ひちやち、

なちへ、みおやせ

校訂おもしろさうし

又おごもいが、ふなやれ

十の四四

(一一三三) うちいてまさとしきうがふし

一きこゑ、おしかさ、

ごよむ、おしかさ、

やうら、おちへ、つかい

又ききやの、うきま、

ききやの、もいま、

又うきま、かゝら、

ひるかさり、きやち

又ひるかさり、から、

中、せち、きやち

又なかせち、から、

かねの、しま、かち

又かねのま、から、

せり、よさよ、かち

又せり、よさよ、から、

かゑふたよ、かち

又かゑふたよ、から、

あまもりよ、かち

又あまもりよ、から、

かなひやぶよ、かち

又かなひやぶよ、から、

なと、とまり、かち

(一二四) まよりゑこのふし

一みやきせん、おや、おうね、

なむぢや、金、かくとみ、とも、

まさやけ、なと、とまり、せりやせ

又おもいぐじの、おやおうね

(一二五) 夫よりゑこのふし

一 きこゑ、みやきせん、
もゝまかり、つみ、あげて、
かえら、よせ、御ぐまぐ、げらへ
又 だよむ、みやきせん

(一二六) 夫よりゑこのふし

一 うらおそいよ、おむる、
げらへ、あまくもい、
あんじ、がなし、
夫より、かち、つかい
又 どかしきよ、おむる

(一二七) あけめのなまよのふし

一 あきみよの、ごまり、
きこゑ、おや、ごまり、
あよ、さりゑや、やちよこ
又 さんたま、おきて、
あぢ、なおり、おきて
又 うらさるの、ごまりや、
ふさはの、ごまり

(一二八) あきみよのごまりがふし

一 あとごんの、大や、
あんじ、つきの、大や、
うみ、とらちへ、
旦那がうら、よせれ
又 あかく旦那、たび、やたる、
さるこ、たび、やたる

又けらま、たび、やた物、
ざまみ、たび、やたもの
又どいろやが、ほしやま、
八いろやが、ほしやま

(一二九) きこへくませりきよがふし

一あがるいの、大ぬし、
なたま、いろの、なつるぎ、
つみ、つけな、まよりもり、みおせ
又てたが、あなの、大ぬし、
なたま、いろの、なつるぎ、
つみつけな、まだまもり、みやせ

(一三〇) まよりゑこのふし

一くしの、まへがねく、

(一)モ、人名

一の三三

世もちどみ、まだちへ、
ともゝをゑ、
のりふさい、まよむちへ
又たけの、^(二)むかいへきよ、
ほむな、おがで、まぶら
又たけくの、かみや、
ゆまたちて、まぶら

(一三一) きこへ大ちみがせぢごよむせいくさがふし

一きこゑ、大ぎみが、
ぢやくにや、世そい、
あんぢおそいせ、ごよめ
又ごよむ、せだかこが、
ぢやくよや、よそい、
あぢおそいせ、ごよめ

又いせゑけり、あぢおそい、
ぢやくよや、世そい、

あぢおそいを、ごよめ

又いせゑけり、たゝみきよ、

ぢやくよや、よそい

(一)モ、勢軍

又せいくさ、せぢ、まされ、

ぢやくよや、世そい

(二)モ、右同

又せいひやこ、せぢ、まされ、

ぢやくよや、世そい

(三)男く

又まよりもり、ころく、

ぢやくよや、よそい

又みしま、かぢころく、

ぢやくよや、よそい

又あゆ、ちよく、げよ、あれ、

ぢやくよや、よそい

又きも、ちよく、だよ、あれ、

ぢやくよや、よそい

又けやる、せやりごみ、

ぢやくよや、世そい

又けやる、ておりごみ、

ぢやくよや、よそい

又やへま、しま、いつこ

又えたら、ま、くら、

きも、まよい、まめて

又まよりもり、あせらえ、

つち、きりよ、きらせ、

あんじおそいを、ごよめ

又まだまもり、あせらえ、

みちや、きりよ、きらせ、

あんじおそいを、まよめ

(五)モ、土ん

(四)モ、土ん

校訂おもしろさうし

又うらのかた、かみく、
あいちへなて、まぶら、
あぢおそいま、ごよめ

(一三二) うらおそいおもしろがふし

一の三一
十の八

一きこゑ、大ぎみが、
てるかたを、のたて、
あぢおそいま、
天ぎや下、おそい
又ごよむ、せだかこが
てるしのを、のたて、
あぢおそいま
又いしゑけり、あぢおそい、
あよが、うちを、なげくな
又いしゑけり、たゝみきよ、

(一)モ、いく
と

おきも、うちは、なげくな
又せいくさ、おしたてを、
大きみを、よしらめ
又せひやく、おしたてを、
せだかこを、よしらめ
又くよもちの、^(三)さらく、
おぼつなよ、ゆそいて
又うらよせの、もころ、
かぐらなよ、ゆそいて
又くよかねの、さらく、
ままた、たいらげて
又うらひぢめ、もころ、
くよ、ひろく、そいて
又あかぐちやが、ゆいつき、
せいくさ、てゝ、^アえねて、

校訂おもしろさうし

あぢおそいせ、

天が下、おそい

(一三三) 去よりゑこのふし

一やまの、くよかねが、

なて、おちやる、こまつ、

あんじおそいよ、

世がほう、せぢ、みおやせ

又ほこり、ころかまが、

ごもまさり、げらへて

又ほこり、ころかまが、

亥まごつけ、からへて、

いでらかせ、

そでたれて、そりやせ

(一三四) うちいてむいちやむながふし

(一)モ、やまのかみの事

(二)モ、船の名

(三)モ、船の名

一あまの、みちへりきよか、

亥ないごみ、まちら、たなめより

又てくの、みちへりきよか

(一三五) うちいてむせのきみがいやけたもきがふし

一きこゑ、せのきみが、

めつけ、亥よむちへ、そりやせ

又どよむ、せのきみが

(一三六) きこへせのきみがこかむさめがふし

一きこゑ、せのきみが、

うらくと、そりやせ

又どよむ、せのきみが、

うらくと、そりやせ

九の三四

(一三七)

一このたけ、この、みちよの、

つかさこ、^{ア、お}かやまで、

まらてま、さりよれ、

ふたまたの、中へ、

あやの、てよ

又おくとう、いちへて、

おくとう、いちへて、さりゑと、

たるが、てゝ、まれが、てゝ、^アどうな

又やこ、さまり、くゝさちへ、

たるが、てゝ、まれが、てゝ、どうな

(一三八) かうちまつなりがみのふし

一かうち、まつなりぎや、

めつら、こゑ、

なさいきよ、まへ、まられゝ

又みもん、まつなりぎや、

(一三九) うちいてまやくのきくたけがふし

一まゑゑ、まゑへ、

やおら、おせ、

こがね、くち、さりやさ

又おゑぢ、おゑぢ、^ア

や、^アうら、おせ

(一四〇) 首里ゑこのふし

一まより お見る、てだこが、

おや、おうねと、おしうけて、

とぶとりと、いそいして、さりやせ

(一)モ、あら
そいてこ

又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一四一) 夫よりゑこのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

おや、みぶさ、つかよ見、

おや、みぶさ、きより、て、

夫られ、

又ぐすく、お見る、てだこが

(一四二) 夫よりゑこのふし

一 夫より、お見る、てだこが、

御まへ、お見る、あをたへ、

よしの、うみの、なみのく見、

かみ、てだの、まぶり、よ見る、おうね

又ぐすく、お見る、てだこが

(一四三) 夫よりゑこのふし

一 夫より、かち、いきや人、

あん、かたれ、いやりせ、

大きみが、きみし、うらきれて

又御まへ、かち、いきや人

(一四四) 夫よりゑこのふし

一 やまのなしのが、

まぶる、かみ、なりよ見ちへ、

かほうとみ、のりふさい、夫よ見ちへ

又きみの、にせこのが、

こしあてかみ、なりよ見ちへ

(一四五) 夫よりゑこのふし

(一)モ、行人
之
(二)モ、我に
(三)モ、みぶ
こやこ

一 亥より、お見る、てだこが、
ふなやれど、みかまい、
かみ亥むの、かまへ
つで、みおやせ
又ぐまぐ、お見る、てだこが

(一四六)

一 ^{アモ}くめぬきの、みおうね、
おしうけ、たる、みおうね、
あとなおちへ、
さき、よかる、みおうね
又あぢおそいが、みおうね

先王尙寧尊君御上國之御時おなぢやらの美御前御つくり被
召候おもしろ

(一四七)

一 まよしが、まねまね、ふけば、
あんどおそい、てだの、
おうねど、まちよる
又おるぢへが、おるぢへど、ふけを

(一四八) むつまじやがふし

一 あがるいの、か^{ア、イ}くのよ、
むかて、さふ、かくよ^{ア、イ}、
まぶる、かみ、さらめ、
まちよく、あれ、みまぶら
又てだが、あなの、か^{ア、イ}くのよ

(一四九) ふへのこりがふし

一あがるいの、大ぬし、
あん、まぶて、くれられ、
あんじおそいぎや、
ぢやくよ、そやつかい
又てだが、あなの、大ぬし

(一五〇)

一あやぎ、うまよ、
あやぎ、くら、かけて、
あやぎ、ぶち、とらちへ、
おゑたて、とりやせゑ、やれ
又くせぎ、うまよ、
くせぎ、くら、かけて、
くせぎ、ぶち、とらちへ

(一馬)

(一五二) ちつよしやがふし

一あがるいの、みつたけ、
みつたけ、めより、
まちよく、あれ、ころく
又てだが、あなの、みつたけ

(一五三) ちつよしやがふし

一あがるいの、みつたけ、
みつたけ、めより、
あれ、みるる、のろく、
あよ、ちよく、もちよられ
又てだが、あなの、みつたけ、
みつたけ、めより

(一五三) 大急ごのふし

一 ふてつたむ、

(二)モ、七人

なゝの、おとぢや、

なしよ包れ、

おや、やらさ、てゝ、

包ん、とりやせ

又 ふてつたむ、

どうの、おとぢや、

なしよ包れ

(一五四)

一 これる、これ、えつよしや、

うらこ、まぢへ、せのきみ、つかい

又 これる、これ、おきとと

又 えつよしやま、まぢよたれ

又 おきととま、まぢよたれ

(一五五) まより急ごのふし

一 あぢおそいぎや、おや、おうね、

ままみらさ、くめたら、

あぢや包、なま、どまり

おや、おうねや、

せのきみまよ、まぢゆ包め

又 おぎやかもいぎや、おやおうね

(一五六) まより急ごのふし

一 きみといと、たかべて、

たまこやま、のぼて、

なでまつと、げらへて、

校訂おもしろさうし

おねうち、がま、ただちへ、

とぶとりと、いそいで、とりやせ

又うまのこが、さるく、

まいどの、なむ、かけて

(一)モ、眞等

(一五七) 夫よりゑこのふし

一ぢやなの、あさが、ふなやれ、

またへ、かせ、おちへ、きより、

あむ、おしられ、

おやまでむ、とりよれ

又いちへき、あさが、ふなやれ、

おゑぢへ、かせおちへ、きより

又やりおそいで、たかべて、

またゑ、かせ、こうたれ

又おやのろと、たかべて、

(二)モ、讀谷
山の事

またゑ、かせ、こうたれ

又大^(三)よし、とりやさと、

なよくらむ、ゑりよむめ

又さきよだよ、とりやさと、

のろく^{ア、イ}、ゑりよむめ

又みおかみむ、やぐめさ、

さきくむ、やぐめさ

(一五八) 夫よりゑこのふし

一きたたんよ、おむる、

またらひが、おやおね、

せぢ、まさて、

ゑまうち、まさり、よむれ

又くよのねよ、おむる、

おもいぐむの、おやおうね

(一)モ、人名

又おし、いちへやり、とりやさと、
 うらこ、まちへ、とりやまよ
 又ぬきいちや、まやり、とりやさと、
 そでたれて、とりやせ
 又いくさ、まな、たちよと、
 あや、まね、さし、よとれ
 又ちやくよ、まな、たちよと、
 くせ、まね、さし、よとれ

(一五九) まよりゑこのふし

一大よしよ、とよむ、
 きこへ、なよくら、
 あん、まぶて、
 これど、とたしよとれ
 又さきよだよ、とよむ

(一)モ、人名
 (二)モ、舟の
 名の事

(一六〇) まよりゑこのふし

一ひるぬしが、やせのしが、
 ふなもどろ、おしうけて、
 いぢやさ、かた、
 せぢ、そとて、とりやせ
 又さゑく、ゑらで、
 まきちへ、ゑらで、
 まやもどろ、おしうけて、
 いぢやさ、かた

(一六一) まよりゑこのふし

一ひるししのが、ふなやれ、
 おや、おうねと、おしうけて、
 うけるかた

せぢそ見て、とりやせ

又いちへき、あさが、ふなやれ

(一六二) 夫よりゑこのふし

一 おんなしが、ふなやれ、

まつとみと、おしうけて、

おやの、かみ、たかべて、

まやゑて、うらこ、まぢへ、とりやせ

又やきしまが、ふなやれ

(一六三) 夫よりゑこのふし

一 おゑたちの、おやのろ

おやのろと、たかべて、

うら、とよむ、まねうち、とみ、

まぢちへ

又おしとまきの、おやのろ

又いくさもい、ころがま、

けさ、さゑく、もどちへ

(一六四) 夫よりゑこのふし

一 おんなしぎや、ふなやれ、

おしとまきと、たかべて、

あん、まぶて、

このと、とたし、よとれ

又やきまが、ふなやれ、

おやのろと、たかべて

(一六五) 夫よりゑこのふし

一 せむういの、おやのろ、

おやのろと、たかべて、

まないごみ、まぎうけたる、きよらや
又うつ、うらの、おやのろ、
おやのろと、たかべて

(一六六) まよりゑこのふし

一せむらいの、おやのろ、
おや、のろと、たかべて、
あん、まぶて、
このと、おたし、よおれ、
又うつの、うらの、おやのろ、
おやのろと、たかべて

(一六七) まよりゑこのふし

一みやきせんよ、たつくも、
こがね、ぐも、たよより、

(一)モ、今歸
仁の異名と

大きみよ、
おゑちへ、こうて、まりやせ
又(二)かなひやぶよ、たつ、くも、
なむぢや、ぐも、たちより

(一六八) まよりゑこのふし

一まませんこ、おやのろ、
おやのろと、たかべて、
あぢおそいよ、
かまへつで、みおやせ
又あけしの、おやのろ

(一六九) まよりゑこのふし

一おきみつな、おらいきよ、
おらいきよと、たかべて、

(二)モ、人名
と

校訂おもしろさうし

あん、まぶて、

これと、^{たぐ}包たし、よ包れ

又ことなれの、包らいきよ

(一七〇) 夫より夫このふし

一 夫ませんこ、おやのろ、

おやのろと、たかべて、

うききよらと、げらへて、

こがねつで、

夫より、^かかち、とりやせ

又みやきせん、おやのろ、

おやのろと、たかべて

(一七一)

一 まよし、てう、かせの、

みやきせん、ねしやり、

かゑなで、かいなで、おこらよ

又おゑちへ、てう、かせの、

よい、みやきせん、ねしやり

(一七二) あくかへよゆむりあまやかせがふし

一 さちきや、もりぐまぐ、

ひぢやり、かた、おけ包ちへ、

あが、なさが、

ゆとり、あまやかせ

又さちきや、もりぐまぐ

よぎり、かた、うけ包ちへ

(一七三) 夫より夫このふし

一 夫ひやの、おやのろよ、

(一)モ、向て
といふ事

きこゑ、まねかせよ、

あん、まぶて、

此と、見たまよけれ

又だなの、おやのろよ

(一七四) まよりゑこのふじ

一いちゑな、おやのろよ、

見たかきよ、かなしけが、おうね、

とぶとりる、とやぶさる、かよ、ある、

又となれ、おやのろよ、

見たかきよ、かなしけが、おうね

(一七五) まよりゑこのふじ

一ゑひやのしが、ふなやれ、

たかべてま、こうたれ、

おゑちへ、こうて、

おも、やよ、とりやせ

又おしとぎの、おやのろ

(一七六) まよりゑこのふじ

一やかびもり、おゑる、

おやのろと、たかべて、

あん、まぶて、

このと、見たしよけれ

又あかまるよ、おゑる、

て、^{ア、}のきみ、たかべて

(一七七) まねうちまぢへむりよるきよらやがふじ

一へどよ、おゑる、ましらて、

ましらてと、たかべて、

あん、まぶて、

此と、又たしよ又れ

又おくよ、お又るまし又らて、

まし又らてと、たか又べて

(一七八) 首里ゑこのふし

一くよか又さの、お又やのろ、

お又やのろと、たか又べて、

かよ又とねて、

あ又ちお又そいよ、みお又やせ

又くよか又さの、又かのろ、

又かのろと、たか又べて

(一七九) ごまりみちへりきよがふし

一へどの、なよ又せり又きよ、

とねうち、しちへ、

とりよる、きよ又らや

又こ又だか、又よみ、お又うね

又ま又より、又よみ、お又うね

(一八〇)

一おれ又づむが、た又ちよ又れを、

あ又か、あ又し又や又つか又み、あ又し又や又げ

お又なりが又み、て又づり、よ又ら、

大又き又みよ、

ま又と又ゑ、こ又う又て、と又り又や又せ

又と又かな又つが、た又ちよ又れと

(一八一) いきやあるかつれがふし

一お又ふ又よ又ご又のが、

(一)モ、船の名所

(二)モ、帯

ふな、もどろ、おしうけて、
 このと、うちへの、うら、こや
 又およよどのが、^(三)えや、もどろ
 又あおなみやが、^(三)てとるけど、おやまで
 又えらなみが、やかた、くち、おやまで
 又およよどのが、たれ、^(三)き、おびおやまで
 又およよどのが、たれをりほ、おやまで

(一八二) ちつよしやがふし

一くよかさよ、おむる、
 おやのろと、たかべて、
 ちまうち、しちへ、
 あぢおそいよ、みおやせ
 又やかびもり、おむる、
 かねまると、たかべて

又あかまるよ、おむる、
 てくの、きみ、たかべて
 又あまもりよ、おむる、
 ましらてと、たかべて
 又おくもりよ、おむる、
 たまの、きやく、たかべて

(一八三)

一かゑふたの、おやのろ、
 とから、あまび、たかべて
 うらこ、ちちへ、
 そでたれて、とりやせ
 又ねのちまの、おやのろ
 又のろくくと、たかべて
 又かみくくと、たかべて

校訂おもしろさうし

(一)モ、西(北
のこと)

(二)モ、南

又(一)よしこ包と、よしなれ
又(二)とるこ包と、とるなれ

(一八四)

一かゑふたの、おやのろ、
おや、おうねよ、まぶりよ包、
まやゑて、みまぶてを、とりやせ
又ねのままの、のろく
又のろくを、えりよ包め
又かみくを、えりよ包め

(一八五) 未よりゑこのふし

一かゑふたの、おやのろ、
まどく、うらよ、かよて、
あぢおそいよ、

金つでみおやせ

又ねのままの、おやのろ、

(一八六) むつまじやがふし

一よろん、こいしのが、
まどく、うらよ、かよて
ままかねて、
あぢおそいよ、みおやせ
又となれ、こいしのが

(一八七)

一よろん、こいしのが、
まどく、うらよ、かよて、
玉金、
あぢおそいよ、みおやせ

又ねくよ、こいしのが

(一八八) むつよしやがふし

一かゑふたの、おやのろ、

とから、あまび、たかべて、

あん、まぶて、

此ど、むたしよむれ

又ねのままの、おやのろ

(一八九) へこのなよせりきよとねうちまぢへがふし

一くよの、なてしのが、

なでしのが、ふなやれ、

なごなごど、

なごやけて、せりやせ

又くよの、みぢへりきよが、

みぢへりきよが、ふなやれ

又かみや、おなりがみ、

(二) ころと、いしゑけり

又かつおう、だけ、とた物

こむうだけ、とたもの

(一九〇) まよりゑこのふし

一ゑらぶ、世の、ぬしの、

おうねとし、まよむちへ、

ゑらぶ、まま、なちやか^{ア。カ}

又となれ、世のぬしの

(一九一) 首里ゑこのふし

一ゑらぶ、よのぬしの、

ゑらでおちやる、みちやぶれ、

(一)モ、男
(二)モ、勝り

みちやぶれや、

世のぬしぢよ、まちよる

又となれ、世のぬしの

又金、くら、かけて、

よ巳、ごまり、おれて

(一九二) むつまじやがふし

ゑらぶ、せりよさよ、

まこき、さりそゑて、

あまへこが、まぶり、よ巳る、ゑそこ

又となれ、せりよさよ

(一九三) まよりゑこのふし

一かつれんが、ふなやれ、

うけよると、はし、まやり、

(一)モ、舟の
ことん

どく、ゑらぶ、

たより、なちへ、みおやせ

又ましふりが、ふなやれ

(一九四) まよりゑこのふし

一かつれんが、ふなやれ、

ふなやれど、みかまへ、

きゝや、大みや、

ひちやち、なちへ、みおやせ

又ましふりが、ふなやれ

(一九五) むつまじやがふし

一さど中の、ころがま、

いちの、たし、まちよく、

あまへこが、

校訂おもしろさうし

まぶり、よむる、忍そこ
又としらもい、ころがま
又たみな、たけ、めより
又よしめたけ、めより
又せりよさの、さつきさへき、
おり、あき^{ア、}より

(一九六) 未より忍このふし

一忍らぶ、やむ、まだけ、
お^(二)さん、さる、かみく、
あん、まぶて、
此と、見たしよ^(一)れ
又となれ、やむ、まだけ

(一九七)

(一)モ、違々
とみおるし
てこ

一忍らぶ、おむる、みそのろ、
みそのろと、たかべて、
あん、まぶて、
此と、見たしよ^(一)れ
又となれ、おむる、みそのろ

(一九八) 未より忍このふし

一とくやまの、なでまつ、
おや、おうねと、まだちへ、
とぶとりと、いそいそと、さ^(り)や^(せ)
又よしたけの、なでまつ

(一九九) 未より忍このふし

一とくよ、おむる、みそのろ、
みそのろと、たかべて、

あん、まぶて、

此と、見たしよ^{ア、}見れ

又とくよ、お見る、より^{ア、}そてのろ、

よそのろと、たかべて

(二〇〇) 夫より^{ア、}ゑこのふし

一よると、いちへて、えりよれと、

たかまると、たかべて、

あん、まぶて、

此と、見たしよ^{ア、}見れ

又此と、いちへて、えりよれと、

けなちたけ、たかべて

(二〇一) 夫より^{ア、}ゑこのふし

一あかきなの、のろの、

夫もの、くよかねと、

あん、まぶて、

此と、見たしよ^{ア、}見れ

又ねのしまの、のろの

(二〇二) 夫より^{ア、}ゑこのふし

一あかきなの、もゝかみ、

おやせどべ、おくりよ^{ア、}見、

おやせどべ、御まへ、

見^{ア、}らされて

又ねの夫まの、やそのろ

(二〇三) 夫より^{ア、}ゑこのふし

一きこゑ、よしもりよ、

世ほこりと、げらへて、

校訂おもしろさうし

みちへ^{ア、ア}びきよま、

あおりやゑて、とりやせ

又ごよむ、中もりよ、

たなきよらと、おしうけて

又つるもいの、こらか、

おやおうね、おしうけて

又けおの、よかる、ひよ、

おやうねと、^アおしうけて

又けおのきやくゝる、ひよ、

おやおうねの、おしうけて

又あぢおそいぎや、おためま、

いたきよらと、おしうけて

又たゝみきよが、おためま、

たなきよらの、おしうけて

(二〇四) 夫よりゑこのふし

一なせの、まつりかみ、

あるやくせ、せりきよ、

せなと、おきて、

おゑちへ、こうて、とりやせ

又いつぶ、まつりがみ

又なせの、うらの、八さと、

ある、やくせ、せりきよ

又なせの、うらの、十さと

あるやくせ、せりきよ

(二〇五) 夫つよしやがふし

一そよめきぎや、^二もちよる、

かみよしやが、もちよる

(一)モ、清ら
の事

で旦那、まくだんか

又またへ、かせ、ふききよれと

お忍ちへ、かせ、ふきよれと

又お旦那だけ、ぬきや、て、

てらち、たけ、ぬきや、て、

(三〇六) まよりゑこのふし

一いゑや、大やこが、

みつけたる、小となれ、かち、

くれて、さりよれと、

せんきみゑよ、

ほがさ、おそて、まぶれ

又となれ、大やこが

(三〇七) まけかけのかみよしやがふし

一ゑましきよが、

け下よやが、ふなやれ、

うらよみちへ、

きもちや、うらこやい

又中ぐまぐ、まおそいや、めより

又よしたけむ、ひかたけむ、めより

(三〇八) いきやあるかつれんがふし

一まつなりぎや、

ふな、こゝろ、まらたな、

お忍ちへ、こうて、さりやさよ

又かみよしやが、

ふなこゝろ、まらたな、

お忍ちへ、こうて

(一) 事、神の

(三〇九) うちいてむむくのまつらへがふし

一かさま、まぢや、たりやかよ、

よ、しま、よせれ

又かさま、ぬれまみやかよ

又まぢや、たりやか、みおと、ちや

又ぬれまみやか、みおとちや

又ふな、このみ、まよむちへ

又たひ、このみ、まよむちへ

(三一〇) うちいてむいやくのきくたけがふし

一ましたけよ、おむる、

たけの、よきかなしまよ、

くめの、まま、かみやれ、

くめの、めづらしやよ

又ひかたけよ、おむる、

きこゑ、よきかなし

又よるや、ろよ、つけれと、

おうちよのが、やぐめさ

又よしたけよ、つけれと、

よるやちか、やぐめさ

又まらよねよ、つけれと、

世よ中よ、つけれ

又たりろ、からきゝゑと、

けよろ、から、きゝゑと

又くめの、まま、どうれと、

かねのまま、どうれを

又かなふくよ、おむる、

ぐしかむよ、おむる

又きこゑ、あんじおそいぎや、

校訂おもしろさうし

ごよむ、あんどおそいぎや

又うらかない、よせて、

とつかない、よせて

又おうね、さくてうむ、

みおうね、さくてうむ

又いみや、ごよみ、つけて、

いみや、まさり、つけて

(三一一) むつまじやがふし

一いくらどの、ころがま、

いちの、たし、まちよく、

あかころか、ともえいの、つるき

又さふらどの、ころがま、

いちの、たし、まちよく、

あかころか、ともえいの、つるき

(一)モ、人名

又このと、まこたけよ、

あむの、きみ、なるし、

玄よりの、めづらしや、

又大ど、まこたけよ

又ひやもさ、くさき、まむる

(三一二) こむせりきよやりほじやがふし

一大みつの、みてもい、

おるちへ、こうて、さりやせ

又ふるさどの、みてもい

又みてもいぎや、おひ、たび

又みてもいが、あら、たび

又よさけ、もり、どころ

又よみき、もり、どころ

又ともからと、さそて

又ちおとちやと、さそて

(二一三) 夫よりゑこのふし

一 ゑらぶ、むまひよもへ、

くれる、てや、なちやな、

いみやこ、より、

めつらこゑ、やらよ

又たび、たつ、あんや

又なつたるし、やれと、

また、からむ、さむらん

又つしやの、たまやれと、

くびからむ、さむらん

(二一四) かうちをつながふし

一 きこゑ、きみがなしかよ、

くよ、まさり、おやのろ、

ゑけよ、まま、からと、

めづらしや、ある

又ごよむ、きみがなしかよ

又あさどれが、まよれと

ようどれが、まよれと

又いたきよらと、おしうけて

又たなきよらと、おしうけて

(二一五) かうちをつながふし

一 きこゑ、きみがなしかよ

やちよくだ、まちよふさの、

よりあふ、まま、さちへ、おむちへ

又ごよむ、きみがなしかよ

又あさどれが、まよれと

又ようそれが、まよれど
又いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて

(三一六) ごまりみちへりきよがふし

一きまゝ、大やこ、

いちき、大やこ、

あくかべよ、よとり、あまやかせ

又ふつき、まめ、あらしよ

又まつき、まめ、あらしよ

又あんじおそいが、おやおうね、

おもいぐいの、おや、おうね

又あめく、のろ、たかべて、

又おや、のろと、たかべて

又いぢへて、てゝ、まられゝ、

とりより、てゝ、まられゝ

又ごまり、まらねども、

くちや、まらね、ども

(三一七) おきなむのいよのふし

一おぎやか、あんじとるや、

ままよせが、ふれまへと、みもん

又とたみ、いくさこか

又御さけ、ほしや、あらし

おうね、よりそいよ

又まげち、ほしや、あらし

おうね、よりそいよ

(三一八) まつまじやがふし

一うふたまよ、おむる、

きこゑ、お包もりや、
くめみきや、お包ちへ
又そこよや、たけ、お包る
又これる、これ、くめと
又これ、これ、おへこもり

(三一九) あきみよのふじ

一 かけめなの、しほの、
おしあい、なみたてと、
なお、みちへが、なよる、
きみ、みちへと、なよれ
又おしあい、なみ、たてと、
よりあい、なみたてと

(三二〇) 走なりがふなやれのふじ

一 あがおなり、みかみの、
まぶら、てゝ、お包ちやむ、やれ、ゑけ
又おと、おなり、みかみの
又あや、とべる、なりよ包ちへ
又くせ、とべる、なりよ包ちへ

(三二一) いきやるかつれんがふじ

一 あおりやへや、
いくさ、いちへと、ちよ包れ、
さまかさと、
包きかぢ、とて、とりやせ
又あおりやへや、
あいつまを、ちよ包れ、
さすかさ

(三二三) むつよしやがふし

一 おくと、まう、およせし、
 つゝか、うゑつかい、
 あんまぶて、
 このと、むたしよむれ
 又どなか、まう、およせし、
 せひか、うゑつかい

(三二四) もろよるふなさきのふし

一 ゆらふさか、
 けおの、おれの、さうしや、
 なさいきよもい、
 みおも、かげ、たちちへ
 又きどかさよ、

けさ、げらへ、ありより

又くよかさよ、

ゑん、げらへ、ありより

又むかのろが、

けおの、おれの、さうしや

又きちよかさよ、

うち人、もちなし、

なさいきよもい

(三二四) 志よりゑこのふし

一 くめのしま、あつる、
 つしや、こがね、むたちへ、
 こしよむ、もり、のぼせて、
 あぢおそいよ、みおやせ
 又かねのしま、あつる

(二二五) うちいちへまうらたへがふし

一 いやや、あか、なさいきよ、

うらの、なりとよみ、

よりかさが、ほこて

又 いや、大なさいきよ

(二二六) いちやまなおもろのふし

一 やどの、みちへりきよが、

いちへて、げよ、とりよる、

むがうらの、めづらしや、

とおく、とりやせ

又 へどの、なよせりきよ

又 つほよ、けさどのよ

(二二七) あけしのがふし

一 かみがなし、

かみきら、ゑかき、

とり、まやう、まま、

とちへ、おむちへ

又 のろがなし、のろよしや

又 あさどれが、まよれと

又 ようどれが、まよれと

又 いたきよらと、おしうけて

又 たなきよらと、おしうけて

(二二八) あけしのがふし

一 きこゑ、あけしのが、

とまちどり、おゑたて、

おへくど、おゑたて、

むがうらの、うらとりぎや、みもん

又とよむ、あけしのが
又あさどれが、まよれと
又ようどれが、まよれと
又ふなこ、ゑらで、のせむちへ
又てかち、ゑらで、のせむちへ

(三二九) あけしのがふし

一きこゑ、あけしのが、
かみまも、とよむ、
みや、あしやげ、げらへて
又とよむあけしのが

(三三〇) あけしのがふし

一きこゑ、あけしのが、
あけもどろ、やもところとも、

(二)ア、御日
の事

(二)モ、來月
の事

むきやけ、おきなむよ、つかい
又とよむ、あけしのが、
又あさどれが、まよれと
又ようどれが、まよれと
又いたきよらと、おしうけて
又たなきよらと、おしうけて
又ふなこ、ゑらで、のせむちへ
又てかち、ゑらで、のせむちへ

(三三一) あけしのがふし

一きこへ、せち、あらきみ、
だしま、とよむ、
(二) おもかと、あがて、おむちへ、
なさいきよ、いきやて、みよむちへ
又とよむ、せち、あらきみ

(三)モ、來月の事

校訂おもしろさうし

又あける、月せと、
又なおり、月せと、
又なおり、月せと、
又なおり、月せと、
又なおり、月せと、

(二三三) まつまじやがふし

一あがるいの、大ぬし、
ちうらの、えなの、さきよれと、
あれ、みれよ、きよら、きみ
又てだが、あなの、大ぬし

(二三三) まつまじやがふし

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、み御まへよ、
こがねまへ、おろちへ、
えまそろて、
あぢおそいよ、みおやせ

又てだが、あなの、大ぬし

(二三四) まつまじやがふし

一あがるいの、大ぬし、
きこへ、くよせりきよ、
いろまさりまで、
もちたゝみ
又てだが、あなの大ぬし

(二三五) まつまじやがふし

一あがるいの、大ぬし、
あやの、天とらちへ、
やゝの、やくせ、ほてらちへ
あんじおそいが、御まへ、かち
又きこゑ、くよせりきよが

校訂おもしろさうし

(二三六) とつよしやがふし

一あがるいの、大ぬし、
大ぬしが、御まへよ、
くよぶ、げと、おへて、おちへ、
おれづむ、またな、
いな、とつとな、さちやる

大正十四年六月廿七日印刷
大正十四年六月三十日發行

校訂おもしろさうし卷二
初版六百部印刷

校訂者 伊 波 普 猷
發行者 南 島 談 話 會
右代表者 岡 村 千 秋
東京市小石川區茗荷谷町五十二番地
印刷者 柴 山 則 常
東京市本郷區駒込林町百七十二番地

發賣所

郷土研究社

振替口座東京二三九一七番

東京市小石川區茗荷谷町五十二番地

エト5M78

29. 6. 1